

# ふれあい

第 177 号

令和 5 年 1 月  
青森県立中央病院  
(題字は藤野院長)



## ゆりかごから出産そして元気な老年期まで

産婦人科  
三浦 理絵

このたび、2022年4月より産婦人科部長を拝命いたしました、三浦理絵と申します。県内最大規模の病院での責任ある立場として、青森県の女性、そしてそのご家族様が安心して治療を受けられるよう、尽力する所存です。

思えば2019年の冬に、新型コロナウイルス感染が広まり出した頃から、産婦人科診療にも大きな変化がありました。それまではお産が終われば、赤ちゃんのご家族が面会に来られるのが当たり前の風景でした。しかし現在は、出産しても退院までほとんど面会はなく、ご家族はお迎えの際にやっと赤ちゃんに会える状態です。婦人科関連疾患にしても、以前は長期入院で治療される患者さんは週末や連休には外泊をして気分転換できていましたが、ここ数年は外泊による感染の危険性や、ウイルス持ち込みの危険性などからそれらが困難となりました。当院は県内遠方からいらっしゃる患者さんや長期の治療が必要な患者さんも多く、精神的に大変なところ、コロナウイルスにより、さらにストレスが多くなっていると感じています。不安な状態により添って、適切な説明、治療が受けられるように心がけることの重要性を感じています。

さて、私自身は婦人科腫瘍を専門として診療しておりますが、最近では手術方法、薬物療法も変化、多様化してまいりました。手術に関しては、子宮体癌に対するロボット支援下手術による低侵襲手術が数年前に保険適用となり、当院も今年度施設認定を取得しました。子宮体癌は多くが初期病変で発見されるため、初期の子宮体癌に対しては積極的に低侵襲手術を行うようにしています。入院期間も短く、術後疼痛も軽微であり、患者さんに対してメリットの多い手術であると実感しています。一方で、大きな手術と抗癌剤治療が必要な病態も多く存在します。その代表が卵巣癌ですが、最近では遺伝子タイプを診断して薬剤を選択したり、再発を抑える維持療法が導入されたりと、婦人科癌の中では最も選択肢が増えている疾患で

す。さらに子宮頸癌に対しては、発症を予防するワクチン接種の推奨がようやく再開されました。子宮頸癌の多くはHPV(ヒトパピローマウイルス)への感染が原因ですが、現在治療を行っている患者さんはワクチン世代ではありません。子宮頸癌は20代~40代の若い世代にも多く発症するため、マザーキラーとも呼ばれており、さらに女性の社会進出と共に高齢出産が増加するなか、子宮頸癌によって妊娠自体が不可能となってしまうこともあります。もちろんウイルス感染以外が原因の子宮頸癌も存在し、むしろそれらは治りにくいタイプであることが知られており、ワクチンを打っても検診は欠かせません。検診とワクチンの普及による子宮頸癌予防はSDGs2030の目標の一つに掲げられており、今まさに私達に課せられている重要な使命の一つであると認識しています。他のワクチン同様、当院での接種は行っておらず、副反応への対策拠点病院としての役割を担っております。ワクチンにご興味を持っていただけるよう、外来や、医師会との連携でドラッグストアなどにもパンフレットを設置しておりますのでご確認いただければ幸いです。ゆりかごから出産、元気な老年期まで、女性の一生に寄り添える医療を目指していきたいと思っております。



HPVワクチンパンフレット

# NOBORI アプリを使うと 県病の受診状況が スマホで管理できます！

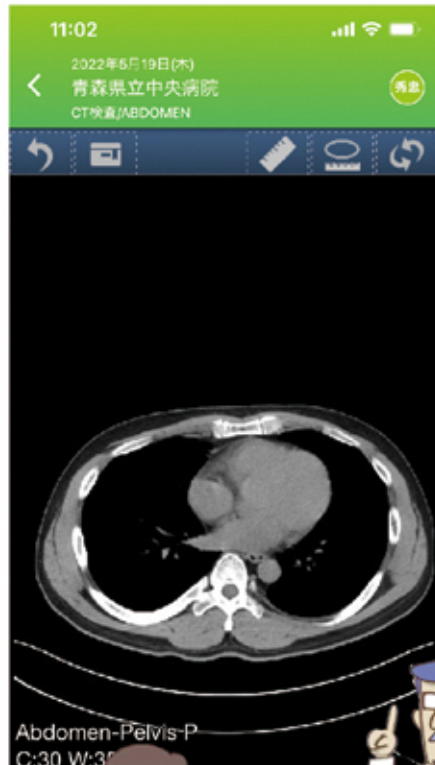
※直近1年間のデータを保持する場合にはずっと無料です。



11:01 2022年5月21日(土) 青森県立中央病院 消化器内科 / 血液

項目 [基準値, 単位]	結果	(前回結果)
WBC [3.3-8.6, x10 <sup>3</sup> /μL]	7.0	6.0
RBC [4.35-5.55, x10 <sup>6</sup> /μL]	5.00	6.00
HGB [13.7-16.8, g/dL]	15.0	18.0
HCT [40.7-50.1, %]	50.0	50.0
PLT [15.8-34.8, x10 <sup>4</sup> /μL]	50.0	25.0
MCV [83.6-98.2, fL]	90.0	50.0
MCH [27.5-33.2, pg]	50.0	50.0
MCHC [31.7-35.3, g/dL]	50.0	50.0

【検査結果】



【画像】

11:02 2022年5月19日(木) 青森県立中央病院 内分泌内科

処方情報

アムロジピンOD錠5mg 「明治」

用法用量 2錠(1日2回 朝・夕食後)

その他の情報

医療機関名 青森県立中央病院

情報元: 医療機関 (2022/04/9:21)

【お薬】

## なにができるの？

### ● 医療情報の閲覧・共有

画像や検査結果、お薬などの医療情報や通院履歴・予約情報などが閲覧できます。また、その情報をご家族や「かかりつけ医」等のその他連携する医療関係者等と共有することで正確な情報伝達が可能となります。

### ● 再来受付機能

再来受付がNOBORIアプリからできます。再来受付機に並ぶストレスがなくなります。NOBORIアプリからの再来受付は事前に予約した外来受診日の7:45～11:30のみ有効です。

### ● 医療費後払い

NOBORIアプリにクレジットカードの登録をすることで請求書を受け取ったあと、会計窓口で並ばずにそのままお帰りいただけます。医療費後払いは外来のみ対応の機能となります。

### ● マイナンバーカードの活用

青森県立中央病院に受診歴がないご家族の方などもマイナンバーカードを活用することで、ご自身の「予防接種情報」「特定検診情報」「薬剤情報」「医療費情報」等をNOBORIアプリで管理できます。

### ● その他準備中の機能

①かかりつけ医 / 薬局との医療情報の共有、②薬局への処方せん送信機能、③待合番号表示(外来)など準備ができ次第リリース予定です。NOBORIアプリに関する情報は、当院ホームページに随時公開します。



県病 NOBORI  
ホームページ



こんな方に  
おススメ!

- ・ スマホで検査結果・お薬を管理したい
- ・ 遠方の家族の検査結果が見たい
- ・ 家族の予約日時を確認したい
- ・ 受付や会計で長時間並びたくない
- ・ スマホで医療費を管理したい
- ・ 子供の予防接種を記録したい
- ・ 入院した家族の状況を家にいながら確認したい

※直近1年間のデータを保持する場合にはずっと無料です。

1年間を超えるデータを保持する場合は有料(月額100円)となります。

## STEP.1 NOBORI アプリのインストール

AppStore もしくは GooglePlay から” NOBORI” と検索し NOBORI アプリをインストールしてください。

※初回の場合はまずユーザ登録が必要になります。



## STEP.2 医療機関の登録

NOBORI アプリを起動し、医療機関の画面登録で” 青森県立中央病院” を選択し登録します。

**STEP.1 と STEP.2 を済ませてから窓口へお越しください。**



## STEP.3 窓口で本人確認（受付時間 9:30 ~ 14:30）

下記の申請書をご記入のうえ、本人確認の窓口にお越しください。診察券・保険証、なければ運転免許証で本人確認をし、当院の患者 ID と紐づけします。

ご家族を代理登録したい場合は、登録するご家族の診察券・保険証、運転免許証などが必要になります。



### 1 階総合案内周辺図



## NOBORI サービス医療情報登録申請書

青森県立中央病院が NOBORI サービスを通じて提供する医療情報について以下のとおり登録申請します。また、NOBORI サービス利用に係る通信料は利用者負担であること、保険適応外であること（医療費とはならないこと）を了承しています。

申請日 年 月 日

申請者氏名

## 〇ご家族の NOBORI アカウントにご自身の医療情報を登録する場合の同意事項【代理登録】

ご自身の医療情報を、申請者本人以外（ご家族に限る）の NOBORI アカウントに登録する場合、家族の氏名、続柄を記入し口にレ点を記入する。

（続柄） （家族の氏名）

□私は、NOBORI サービスを通じて、\_\_\_\_\_ である \_\_\_\_\_ に自身の医療情報を共有することに同意します。 ※代理登録する家族 1 名ごとに申請書 1 通の提出をお願いします。

※必ず申請者本人の直筆にてご記入願います。病気の状態などにより申請者本人以外が代筆する場合は以下にサインをお願いします。申請者本人の承諾の下で、代筆することに相違ありません。

【代筆者サイン】

連絡先電話番号（ — — ）

## 医療情報部のお仕事

医療情報部 診療情報管理士  
東 陽平



### ○ 医療情報部の業務

医療情報部は、医療情報の管理や活用を担う部門で、次のような業務を行っています。

- ・電子カルテ等のシステム構築・管理
- ・院内の業務支援  
(ドクターズクランク、診療情報管理士)
- ・患者満足度の向上  
(院内フリーWi-fi整備、オンライン面会)
- ・クリティカルパスの整備
- ・独自システムの開発
- ・情報セキュリティの強化

### ○ ドクターズクランクと診療情報管理士

医療情報部のスタッフの中でいちばん患者さんの目にふれる場所で働いているのは、ミントグリーン診療衣を着た『ドクターズクランク』で、外来に57名が配置されています。多忙をきわめる医師の事務作業を補助する専門職であり、医師の指示のもと、電子カルテへの代行入力や各種書類の作成補助など多様な業務に対応しています。



また病棟には『診療情報管理士』が12名配置されており、入院患者さんの診療記録の点検・集計・登録を行っています。現代の医療は、安全で効果の高いケアを実現するうえで「科学的な根拠」を重視しますが、診療情報管理士はその裏付けとなる情報が正しく蓄積・分析・活用されるよう管理を行っています。

### ○ サイバー攻撃から情報を守る

医療情報部では今年度から新たに、コンピュータウイルスなどのサイバー攻撃への対応を行う『インシデント対応チーム』を設置しました。インターネットが普及し情報のやりとりがますます便利になってきた反面、重要情報の破壊や窃取、脅迫を狙った攻撃も増えてきています。サイバー攻撃による情報破損やシステム障害は、病院の医療機能の低下に直結するため、インシデント対応チームでは、攻撃を早期に検知し排除する仕組みの構築、万が一侵入を受けた場合の被害縮小や復旧に向けた備えを進めています。



また医療情報部では、情報セキュリティ向上のための院内セミナーを定期的で開催し、職員全員の知識と意識の向上に努めています。

### ○ 今後に向けて

医療情報部は今後も社会の情報化の流れに柔軟に対応し、院内フリーWi-fiの整備や、オンライン面会など、患者さんの利便性を高めるサービスの向上につとめます。また、職員の専門性をさらに高め、情報の電子化や、情報セキュリティの向上などの課題に取り組んでまいります。

